



口の衛生と肺炎予防

誤嚥とは飲み込み機能の低下により、食べ物や飲み物が誤って気管に入ることです。食べ物や飲み物以外にも、ご自身の唾液を気が付かないうちに誤嚥してしまう場合もあります。ある研究では、肺炎に罹患したことがある患者さんの約70%は唾液を就寝中に誤嚥していたという報告があります。

夜間の口の中は日中よりも細菌が発生しやすく、起床時の細菌数は数億個以上にもなると言われています。細菌が繁殖した唾液を誤嚥することが、誤嚥性肺炎の原因の1つとされており、口の中を清潔に保つことが誤嚥性肺炎の予防において大切であるとされています。

実際に、口の中を清潔に保つことにより口の中の細菌数が少なくなり、肺炎の発症率が減少するという報告もあります。そのため、食事のあとは歯磨きなどをして口の中をいつも清潔に保つようにしましょう。



薬

やくすりに立つ！
のあれこれ

File.41

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の役割

1 薬の使用について不安を感じている妊婦さん・授乳婦さん・妊娠を考えている方の相談に応じます。

2 妊娠中・授乳中の薬物治療について、医療スタッフからの質問に答えたり薬物療法の提案を行ったりしています。



妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師は、薬を使うことに不安がある妊婦さんや、どの薬を使ったらいいか迷っている医療スタッフに、専門的な立場から情報を提供しています。この時期の薬の使用が赤ちゃんにどのような影響があるか、正しく知っていただくことがとても重要です。赤ちゃんへの有害作用を心配するあまり、自己判断で治療を中断するとかえって悪影響が出ることもあります。必要な治療を適切に受けられるよう、また安心して治療を継続できるよう活動しています。

「妊娠に気づかず薬を使ったけど大丈夫かな？」
「今使っている薬は赤ちゃんに影響があるのかな？」
「授乳中にお薬を使っても大丈夫かな？」



などの不安がある時はご相談下さい。当院の産科や婦人科に通院中の方は、外来時にお申し出いただければ担当者が対応いたします。詳細な情報が必要な場合は、予約制の「妊娠と薬外来」(有料)で相談に応じています。

